

新年のお慶びを申し上げます。昨年、多くの方々のご支援を賜り5期目の当選を果たし心より御礼申し上げます。

選挙後新人が11名当選し改組後の市議会はガラリと変わった感は否めませんでした。所属党派幹部会では5期議員の議長経験者として会派運営に関わっています。また、議会少子化対策特別委員会、議会基本条例検証特別委員会、企業会計等決算審査特別委員会の3つ委員長として仕事をしています。さらに、新たに自民党県連及び金沢支部の女性局長の任務を仰せつかり、前局長の協力のもと活動を進めさせているところです。

令和6年も実りある年となるよう議員活動に取り組んで参ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



少子化対策 特別委員会委員長 報告(概要) —— 12月11日

委員会ではコロナ禍により、人々の生活意識・行動が変化したことで少子化が加速された現状を踏まえ、「アフターコロナにおける少子化対策に向けた施策について」をテーマとして定め、少子化対策に向けた子育て支援施策の充実について、委員会として議論を重ねてきました。

2030年代に入ると、我が国の若年人口は現在の倍速で急減し、少子化はもはや歯止めの利かない状況になると言われている。それまでの間に少子化傾向を反転できるかどうかのラストチャンスであり、少子化対策は待ったなしの瀬戸際にある。このような認識のもとに重要事項三点にまとめ村山市長に提言しました。

1 新たな「かなざわ子育て夢プラン」の策定

若い世代が希望どおり結婚し、希望する誰もが子どもを持ち、安心して子育てができるように、また子どもたちがいかなる環境、家庭状況にあっても健やかに成長できるよう、新たな「かなざわ子育て夢プラン」の策定に当たっては、子育てに関わる人たちのみならず、子どもや若者、女性の意見を十分に反映するとともに、関係部局が連携して、まちの未来につながる子ども・子育て施策を確実に盛り込むこと。



12/11 村山市長に提言書報告

2 安心して子どもを産み育てる環境づくり

妊娠前から子どもの就学時までの間、母子保健や子育て支援に関する幅広いニーズに応えるため、気軽に相談できる窓口機能を充実させること。また、町内の部局間連携はもちろんのこと、妊娠・出産・育児までの切れ目のない支援を強化することに加え、地域ぐるみで子育て世代を応援できるよう、安心して子どもを産み育てる環境づくりを推進すること。

3 共働き・共育ての推進

仕事と家庭を両立しながら、夫婦が共に子育ての喜びを共有できるよう、育児期の短時間勤務やテレワークなど、柔軟な働き方の導入拡大や、男性の育児休業の取得を推進する事業者への支援の充実にも努めるとともに、長時間労働の是正や処遇改善に向けた周知広報を、国や県と歩調を合わせて積極的に行うこと。



村山市長に提言書の説明

少子化対策に向けた子育て支援施策の充実について、執行部の取り組みを確認するとともに、参考人として、こども家庭庁長官官房審議官の野村知司氏からの意見聴取や先進地の視察を行なった。視察において、認定こども園、子育て支援センター、放課後児童クラブなどを一体的に同一エリア内で運営している民間の施設や、公営でも地域の子育て支援の拠点として気軽に子どもを預けられる託児ルームを運営しているなど、先進地での好事例を参考にしつつ、行政による支援はもとより、民間事業者等も巻き込んで子育てに対する社会全体の意識改革を促すような施策を充実させ、すべての人が子育てを応援する社会になることを願い提言としました。



9月定例会議会 9月12日一般質問(主な要旨)

問1 北陸新幹線金沢—敦賀間開業について

金沢—敦賀間開業は、第2の開業効果をもたらす大きなチャンスである。本市の観光や経済活動に波及効果をもたらす本市の魅力の発信について市長の所見を伺う。



答弁) 敦賀延伸は、金沢や石川、北陸が注目を集め、メディアの取扱い機会が増えるだけでなく、北陸エリア全体の移動利便性が飛躍的に向上することから、金沢を拠点とした広域観光を発信する好機である。本市にとって第2の開業という絶好の機会を捉え、北陸・飛騨・信州3つ星街道と連携して出展するツーリズムEXPOジャパンや、JRグループが主催する全国宣伝販売促進会議などを通じて、金沢の魅力の国内外に発信する。(村山市長)

問2 インバウンドと冬の観光需要の喚起について

冬の観光ナイトコンテンツ事業について、インバウンド需要の取り込みを図るために検討しているイベント内容や事業の概要と誘客拡大について。

答弁) インバウンドの回復は想定以上のスピードで進んでいる。国の観光立国推進基本計画では、持続可能な観光、消費額拡大、地方誘客促進の3つを柱とし、国内の交流拡大に加え、インバウンドでの観光消費額拡大と持続可能な観光地域づくりを目指すとしている。本市でもさらにモノ消費からコト消費、トキ消費につながっていく文化観光体験のコンテンツ造成を推進していくとともに、市民生活と観光の調和を図り、持続可能かつ地域経済の活性化に資する観光振興に努めていく。(村山市長)

金沢の冬は旬を迎える海の幸などの食、雪つりなどの美しい景観、地域に根づいた祭事や食文化を生かしたイベント等、観光資源が充実している時期です。冬期の観光客は増加傾向にありますが、観光コンテンツやその魅力を踏まえ、まだ伸び代は大きいと考えている。

英語版デジタルパンフレットの制作、飲食店、まちなかのライトアップスポットなどの見どころを紹介して、夜のまち巡りを楽しんでもらえるように考えている。(鳥倉経済局長)

問3 地域おこし協力隊の活用について

本年度、都市政策局に地域力再生課が新設され今回補正予算に地域おこし協力隊活用まちづくりモデル事業として金石・大野・森本地区とした募集事業について。

答弁) モデル地区として選定した金石・大野地区は、金沢21世紀美術館のプログラムで、国内外のアーティストが滞在し、地域の方々や協力して制作活動を行ってきた実績がある。また、森本地区では、地域おこし協力隊のOBが定期的なイベント等の運営に参画しているなど、外部人材と連携して、地域の活性化に取り組んできた実績がある。各地区に受入れの意向を確認した上で選定した。3地区は、外部人材の受入れによる地域への波及効果が期待できると考えている。



傍聴に見えた地域等方々と

地域資源を生かした地域の活性化に主体的・意欲的に取り組めるとともに、任期後には地区内に定住することを視野に入れている人材を募集したい。(村角都市政策局長)

問4 金沢スタジアム整備とプロスポーツチーム支援について

本市で活躍するサッカーや野球や卓球などプロチームに期待する地域貢献や効果について。

答弁) プロスポーツの振興に関し、金沢市スポーツ文化推進条例にて、スポーツは人々に夢や希望、感動を与えることで、人と人との交流を促進し、連帯意識を醸成するものであり、市民生活の向上や地域社会の健全な発展に欠かせないものと考えている。特にホームタウンチームの活躍は、地域の活力や一体感の醸成に加え、協賛企業の参画や、スポーツツーリズムなどによる来街者の増加による経済効果も含め、地域の活性化に大きく寄与することから、スポーツによるまちづくりの推進に貢献するものと期待している。金沢市としても、市民との交流機会の提供など、なし得る限りの支援を行うなど、共に連携しながら役割を果たしたい。(村山市長)

問5 認知症対策について

認知症の人との共生社会に向けた支援や若年性認知症の方への取組みについて。

答弁) 認知症サポーターの養成は、長寿安心プラン2021において、令和6年3月末までに42,354人を養成するという目標を持っており、令和5年3月末現在38,754人を養成した。

認知症の理解啓発については、認知症サポーターの養成講座に加え、地域包括支援センターにおける認知症予防教室の開催や、いつでもどこでも脳活プログラムの動画配信などを通じて、認知症を学ぶ機会を提供している。また、認知症の疑いのある高齢者の気づきを促すため、70歳、73歳、76歳の方を対象に物忘れ検診を実施しており、引き続き、予防につなげる取組を推進していく。

若年性認知症の方へは、専門医療機関や国が開設するコールセンターを案内し、身近に相談できる窓口として、若年性認知症カフェを開催し、認知症の方やその家族を支援する個人や企業につなげるなど、その方のニーズに応じた各種サービスの情報を提供している。今後とも、本人の状況や置かれた環境に応じた支援を進めていく。(山口和俊福祉健康局長)

令和5年8月～11月の主な議員活動



金沢都市圏新交通導入議員連盟視察(宇都宮市)

県議市議26名の参加。8月開業した宇都宮市ライトレール(LRT)整備事業の現地視察。



全国市議会議長会研究フォーラムin北九州 (会派議員参加)

基調講演・パネルディスカッション 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

より多くの人々が議員になるには、議会への参画として多様な経験をした多様な世代が多様に参画する議会として、若い世代や子育て世代の反映や社会経験を活かせる議会とさらに議員経験を活かせる社会が大切である。投票率の低下傾向は続き、過去最低であった。特徴は女性議員の増加であり問題なのは無投票当選が多いこと。



八田技師像(台南市)



磯田技師像(台中市)



台南市議会表敬訪問(台南市)



台中白冷圳流域協会関係者(台中市)

市議会代表团台南・台中市訪問(野本・前・久保の3名)

平成29年に台南・台中の両市議会は友好交流協定を締結し、教育や文化スポーツ産業などさまざまな分野での相互交流推進に向けて取り組んでいる。台南市は金沢出身の八田興一技師の水路等事業の貢献が縁で親交を深め、台中市は金沢出身の磯田謙雄技師が白冷圳建設に尽力した縁での親交である。

日程は台中市、台南市各政府・市議会への表敬訪問し、台中市は白冷圳流域発展協会の方々が現地案内説明いただき意見交換をする。台南市では烏山頭ダム視察し八田興一像に献花、記念館や記念区と隆田CHACHA視察する。

滞在最終日は嘉南農田水利会徐前会長、農業部農田水利署長、同嘉南管理所長他の交流会などで友好を深める。黄偉哲台南市長は来年建城400年の台南市はランタンフェアや蘭フェアを開催する。金沢の小学生にマンゴを送り食べてほしいと語った。市議会邱莉莉議長表敬訪問し議員各位も合流するなど女性議長の活躍に親しみがわき会話が弾んだ。

また議場での委員会開催中を傍聴席から見学でき、短い休憩時に委員長から歓迎の挨拶があり、驚きであったが友好を感じるものであった。公的には2024年日台サミットが台南市議会主催で開催、金沢市議会を招待するので参加してほしいと言われた。



医療と福祉と地域をつなぐ

久保洋子 議員事務所
〒920-0014 金沢市諸江町36-17
TEL.076-264-3536
FAX.076-264-3536
URL.https://kubo-yoko.com/



文教消防常任委員会視察(大田区・熊谷市)

14日:大田区御園中学校みらい学園視察。
15日:熊谷市スポーツ・文化村「くまびあ」。
旧熊谷市立女子高校を有効活用し市民のスポーツ・文化に親しむ合宿・研修施設。



介助犬ユーザー平野さんとピース

もろえ放課後児童クラブの 介助犬についての啓蒙活動(もろえ児童館)



金沢スタジアム議員事前見学会



フェアトレードエシカルマーケット(第2庁舎)

フェアトレード・環境・福祉・地域・食・学校・企業のカテゴリーから34団体出店。エシカルとは「倫理的・道徳上」という意味。山本前市議会議員、フェアトレードタウン推進委員会中西会長と中谷氏。



10/8



金沢市健康麻将レディース大会(いきいき元気塾)



少子化対策特別委員会視察(10/4-5)

埼玉県久喜市学校法人柿沼学園

子育て支援センター、認定こども園、小規模保育園等(0から2才児)、妊産婦から生後6、7ヶ月までの子育て支援、放課後児童クラブ等事業を展開している。柿沼平太郎理事長から全施設を案内頂く。地域の子育て支援が点から面へと展開できた。現時点で結果的に評価できると話す。



高崎市子育てなんでもセンター

子育て中や妊娠中の人も気軽に相談支援等受けられる。安心して子どもを産み、育てることができる拠点である。子育て支援、就労支援、託児など、市・関係機関、NPO団体などで運営している。

カーフリーディのイベント(庁舎前広場)

交通政策課近藤課長とマスコット
【IRあいまるくん(左) 浅電のるぞう(右)】